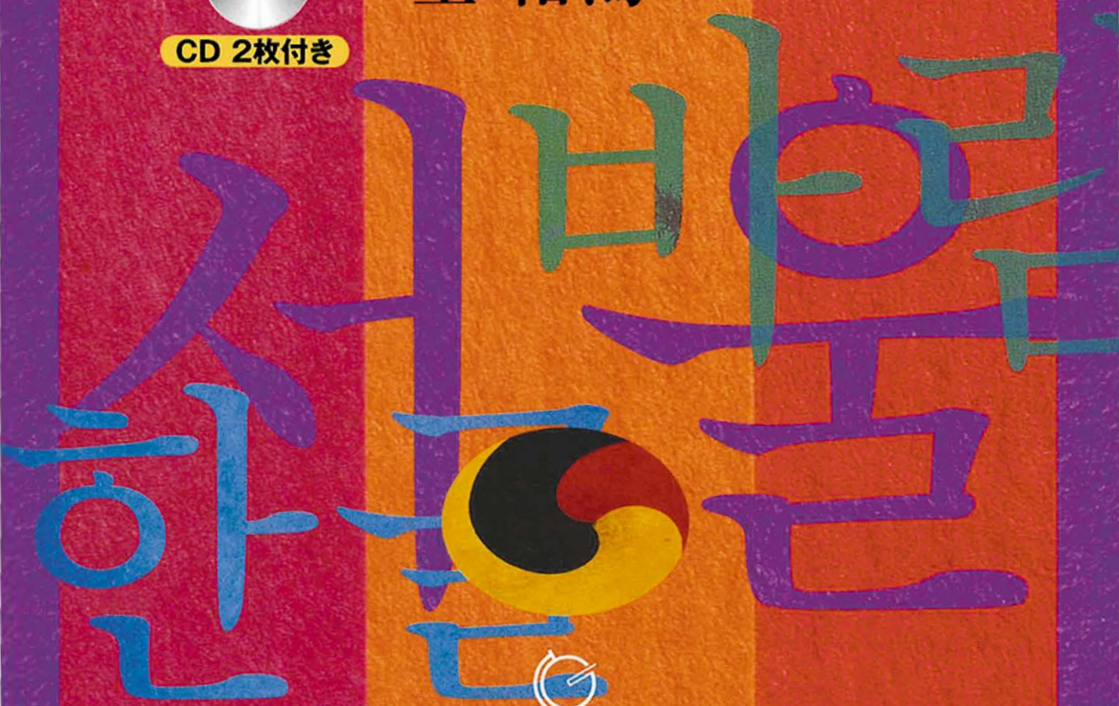


# はじめより 韓国語



CD 2枚付き

金裕鴻◎著



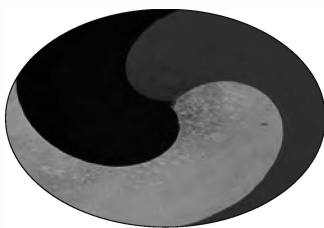
語研

# はじめより 韓国語

金 裕鴻 著



CD 2枚付き



語研

[はじめよう韓国語 ためし読み Webページへ](#)

# ●●●はじめに●●●

韓国語の学習者が増えています。日本で実施されている「ハングル能力検定試験」第一回目の1993年春の受験者数は、2,010人でしたが、第29回目の2007年春は、13,407人と6倍以上に増えました。学習書も増え、いろいろな本が書店に並べられています。うれしい話です。

1970年頃から韓国語学習者のお手伝いをしてきた私の周りには、今も韓国語の学習者が大勢います。韓国語を習ってすぐにでも使ってみたい人が増えました。

ところで、外国語は通じればよいという言葉があります。私もこのことをよく口にしますが、ただ通じるだけでは物足りないと思う学習者は意外と多いのです。あいさつひとつでも言葉の意味を正確に理解してきちんと使いたい、と思っているからです。このような韓国語の初心者のために書いたのがこの本です。

1987年に(株)語研から出版された拙著『初めて学ぶ韓国語』は、幸いご好評をいただいています。質問もたくさんいただきました。これらの質問を踏まえ、これまでの私の経験をフルに活用した集大成です。これから韓国語をはじめられる方、もう一度韓国語の基礎を固めたいという方にぴったりの内容です。

本文の解説で文法を理解し、CDを活用してきれいな発音や言い回しを身に付けてください。皆さんの韓国語力向上のお手伝いができれば幸いです。

最後にこの本の出版を熱心に勧めてくださった(株)語研の山口貴久枝さん、原稿整理と校正を担当してくれた星文子さん、そしてCDの吹き込みを担当した鄭洲さんに心から感謝します。

2008年6月吉日

金 裕鴻

# 目次

はじめに	3
●本書の構成と使い方	10
<b>I 韓国語について</b>	
<b>1 韓国語とは</b>	12
<b>2 ハングルとは</b>	14
<b>II 文字と発音</b>	
<b>1 母音</b>	
<b>1 基本母音</b>	20
<b>2 合成母音</b>	22
<b>2 子音</b>	
<b>1 基本子音と濃音</b>	24
<b>2 子音のまとめ</b>	26
<b>3 パッチム</b>	
<b>1 パッチムとは</b>	28
<b>2 パッチムの発音 - 1 -</b>	29
<b>3 パッチムの発音 - 2 -</b>	30
<b>4 文字の組み合わせ</b>	31
<b>4 発音のルール</b>	
<b>1 平音の濁音化</b>	32
<b>2 連音化</b>	33
<b>3 平音の濃音化</b>	34
<b>4 漢字語の濃音化</b>	34
<b>5 鼻音化</b>	35
<b>6 平音の激音化</b>	35
<b>7 流音化</b>	36
<b>8 口蓋音化</b>	37
<b>5 単語を読んでみましょう</b>	38
<b>III 文章の基本</b>	
<b>1 助詞</b>	
(1) ～は	52
(2) ～を	53
(3) ～が	54
(4) ～の	56
(5) ～も	57
(6) ～に〔物, 場所, 時間などに付く〕	57

(7) ～に〔人や動物に付く〕	58
(8) ～と	59
(9) ～で	59
(10) ～から〔人や動物に付く〕	60
(11) ～から〔出発点を表す〕	60
(12) ～から〔起点, 始まりを表す〕	61
(13) ～まで	62
(14) ～へ, ～で	62
(15) ～より	63
(16) ～だけ	63
(17) ～さえ	64
(18) ～しか(～ない)	64
(19) ～のみ, ～だけ	64
(20) ～や	65
<b>覚えましょう -1- 指示語</b>	67
<b>重要ポイント -1- 用言の原形・語幹・語尾</b>	68
<b>縮約形</b>	68
<b>2 指定詞</b>	
<b>1</b> ～だ, ～である	69
<b>2</b> ～でない	74
<b>3 存在詞</b>	
<b>1</b> ある, いる	77
<b>2</b> ない, いない	78
<b>3</b> ありますかーあります/いませんかーいません	79
<b>4</b> 存在詞の尊敬形	81
<b>5</b> 位置を示す表現	82
<b>4 母音語幹と子音語幹</b>	84
<b>5 動詞</b>	
<b>1</b> 動詞の活用	85
<b>2</b> ㄹ 語幹	86
<b>3</b> 動詞の否定形	89
<b>4</b> 動詞の不可能形	92
<b>6 形容詞</b>	
<b>1</b> 形容詞の活用	94
<b>2</b> 形容詞の否定形	97
<b>重要ポイント -2- 補助語幹</b>	98
<b>7 尊敬形</b>	
<b>1</b> 用言の尊敬形	99
<b>2</b> 特別な尊敬形	101
<b>8 意志や推量の補助語幹</b>	102

<b>9</b>	陽語幹・陰語幹	104
<b>10</b>	過去形	105
<b>11</b>	話し言葉の親しみのある丁寧な終止形	107
	합니다体と해요体	112
<b>12</b>	連体形語尾	
	1 連体形現在	114
	2 連体形未来	116
	3 連体形過去	117
	4 連体形回想	118
<b>13</b>	丁寧な命令形	
	1 丁寧な命令形	120
	2 親しみのある丁寧な命令形	121
	3 丁寧な禁止形	122
	4 親しみのある丁寧な禁止形	123
<b>14</b>	連用形	124
<b>15</b>	丁寧さのない疑問形	127
<b>16</b>	数	
	1 数詞	129
	2 時の言い方	130
	3 物の数え方	133
	4 金額や数、量を尋ねる表現	134
	会話の基本 -1- 疑問詞と疑問文①	136

#### IV 様々な表現

<b>1</b>	接続のパターン	
	1 3つの補助語幹と接続のパターン	140
	2 語尾の接続	140
<b>2</b>	終止語尾	
	1 「～です」「～ます」	141
	2 「～ですが」「～ますが」	142
	3 「～ますね」「～ですね」	143
	4 「～ますね」「～ですね」	144
	5 「～ですから」「～ますから」	144
	6 「～でしょうか」「～(し)みましょうか」	145
	7 「～(し)ますから」	145
	会話の基本 -2- 疑問詞と疑問文②	146
<b>3</b>	接続語尾	
	1 「～して」「～で」〔並列, 対比〕	149
	2 「～だが」「～けれど」〔逆接〕	150
	3 「～ので」「～から」〔理由, 原因〕	151
	4 「～して」「～ので」〔理由, 原因〕	152

5	「～なので」〔理由, 原因〕	153
6	「～れば」「～なら」〔假定〕	153
7	「～して」「～であって」〔並列〕	154
8	「～しながら」「～であると同時に」〔同時に存在〕	155
9	「～していて」「～している途中で」〔中断〕	156
10	「～すると」「～だが」〔前提, 逆接〕	157
11	「～するのか」「～するかどうか」〔間接疑問, 疑問〕	158
12	「～しに」〔動作の目的〕	159
<b>会話の基本 -3- 返事とあいさつ</b> ..... 160		
<b>覚えましょう -2- 用言の体言化語尾</b> ..... 164		
<b>4</b>	<b>時に関する表現</b>	
1	「～するとき」「～であるとき」	165
2	「～する前に」	167
3	「～するついでに」「～する途中で」	167
4	「～したはずみに」「～したついでに」	168
5	「～した後」「～してから」	168
<b>会話の基本 -4- 自己紹介をする／約束する／道を訪ねる／タクシーに乗る</b> ..... 169		
<b>5</b>	<b>慣用表現</b>	
1	「～することにする」	172
2	「～するのがよい」「～したほうがよい」	173
3	「～したことがある」	174
4	「～だろう」「～はずだ」	175
5	「～することができる」「～することができない」	176
6	「～のようだ」「～しそうだ」	177
7	「～するすべを知っている」「～できる」	178
8	「～する価値がある」「～するに値する」	179
9	「～したい」	179
10	「～している」〔動作の進行や状態〕	180
11	「～している」〔状態〕	182
12	「～しようと思う」「～しようとしている」	183
13	「～すればよい」「～であればよい」	184
14	「～してもよい」	185
15	「～しなければならぬ」	186
16	「～してください」	187
17	「～なので」「～だから」	188
18	「～するために」	189
<b>会話の基本 -5- 買い物／レストランで</b> ..... 190		

## V ここが知りたいQ&A

- Q1 <독립>「独立」の発音が [toɲnip・동닙] になるのは  
どうしてですか。……………196
- Q2 <손등>の<ㄷ>はどうして濁音化しないのですか。……………196
- Q3 <서울역>は何と発音すればいいのでしょうか。……………198
- Q4 「理由」<이유>の「理」<이>と「料理」<요리>の「理」<리>は  
同じ漢字なのに、どうして読み方が違うのですか。……………199
- Q5 <ㄱ>の発音はどのように使い分ければいいのでしょうか。……………201
- Q6 <계세요>の発音は [ke:sejo・계세요] ですか、それとも  
[kje:sejo・계세요] ですか。……………202
- Q7 <좋아요>が [tjoajo・조아요] と聞こえるのですが、  
<ㅎパッチム>は連音化しないのですか。……………202
- Q8 長母音で発音する単語を見分ける方法がありますか。……………204
- Q9 2種類の文字でできたパッチムはどちらを読めばいいのでしょうか。 205
- Q10 語幹の分類の仕方がよくわからないのですが。……………206
- Q11 <ㄷ 語幹>は子音語幹ではないのですか。……………208
- Q12 用言語幹に補助語幹の<-시>, <-졌>, <-았/-였>を付けたとき、  
語尾は何を使えばいいのですか。……………209
- Q13 漢字語を見分けるコツはありますか。……………210
- Q14 漢字の読み方はすべて1字1音ですか。……………211
- Q15 助詞の「の」<의>はどういうときに使うのですか。……………212
- Q16 日本語で「は」を使うときに<이/가>などを使うことがあるのは  
どうしてですか。……………213
- Q17 敬語の使い方がよくわかりません。説明してください。……………214
- Q18 分かち書きの仕方を教えてください。……………215
- Q19 辞書を上手に利用するコツを教えてください。……………216

## VI 活用表

- 1 変則活用の種類
- 1 ㄱ変則……………219
- 2 ㄷ変則……………221
- 3 ㄴ変則……………223
- 4 ㅎ変則……………225
- 5 ㄹ変則……………227
- 6 ㄷ変則・ㄹ変則……………229
- 7 ㄹ変則……………232



<b>2</b> 用言の活用	<b>1</b> 指定詞……………	234
	<b>2</b> 存在詞……………	234
	<b>3</b> 動詞……………	238
	<b>4</b> 形容詞……………	254
文法事項索引……………		266

装丁／神田 昇和

本文イラスト／白 龍圭

吹込／金 裕鴻, 鄭 洲

編集・校正協力／星 文子

# ●●● 本書の構成と使い方 ●●●

この本はこれから韓国語を始めようという人や、基礎からやり直したい人が無理なく取り組めるように構成されています。

まず、「**I 韓国語について**」は韓国語とハングルについての概説です。

「**II 文字と発音**」ではハングルの字形と発音について解説しています。すでに文字や発音に親しんでおられる方はこの章は飛ばして次の章からお始めになってもかまいません。また、この章の後半では発音のルールを取り上げています。韓国語は必ずしも文字どおり発音されるとは限りません。音が変化する決まりをまとめたものが発音のルールです。このルールは一度では覚えきれないかもしれませんが、何度も確認しているうちに少しずつ慣れてきます。CDを繰り返し聞いて韓国語の自然な発音に耳を慣らしていきましょう。発音が多少ぎこちなくても、外国語は通じればいいのです。初めから完璧を目指すよりも通じる韓国語を目標になさってください。言葉が通じるようになれば、きれいな発音ができるようになるでしょう。

「**III 文章の基本**」では助詞の使い分けや語尾の接続の仕方など、文章を作る上での基本知識を説明しています。練習問題の代わりに、例文の韓国語を日本語に訳したり、日本語を韓国語に訳したり、またヒアリングの教材として十二分に活用して、文章の構造をしっかり身に付けてください。

「**IV 様々な表現**」では、表現の幅を広げるために、会話や作文などでよく使われる日常表現を学びます。

「**V ここが知りたいQ&A**」では、学習者がつまづきやすいことがらや、各章で説明しきれなかった項目をQ&Aの形でまとめてあります。疑問点を解く手がかりとして、また発音のルールや文法事項を確認したり、整理するのに活用していただければ幸いです。

「**VI 活用表**」は用言の活用形から原形を見つけたり、韓国語の作文をするときの参考にしてください。

随所に挿入されている「**会話の基本**」は実際の会話ですぐに使える文例を取り上げました。いざというとき頭で考えなくてもすらすら言えるように、繰り返し聞いて声に出して練習してください。

最後の1ページまで無駄なくご活用いただければ幸いです。

# I

## 韓国語について

---

# 1 韓国語とは

韓国語は韓国の人々が使っている言語です。古くから朝鮮民族の間で使われてきた言葉で、同じ民族の住む朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕はもちろん、中国吉林省の朝鮮族自治州や、旧ソビエト連邦、日本やアメリカなどに住む韓国・朝鮮人の間でも使われています。日本では朝鮮語と呼ぶこともありますが、この本では韓国語ということにします。

韓国語は日本語と文法的な特徴が似ています。

## (1) 語順が似ている

中国語や英語のように文を組み立て直さなくても、単語を置き換えるだけで通じます。

「友人がいる」は〈친구가 있다. (チングガイッタ)〉、「友人がたくさんいる」は〈친구가 많이 있다. (チングガ マーニ イッタ)〉、「韓国に友人がたくさんいる」は〈한국에 친구가 많이 있다. (ハングゲ チングガ マーニイッタ)〉となります。〈친구 (チング)〉は「友人」、〈가 (カ)〉は「～が」、〈있다 (イッタ)〉は「いる」、〈많이 (マーニ)〉は「たくさん」、〈한국 (ハングク)〉は「韓国」、〈에 (エ)〉は「～に」という意味で、これらの単語を日本語と同じ順でつないでいけばよいのです。

## (2) 「てにをは」などの助詞がある

上の例でもわかるように、韓国語には助詞があります。もう少し例を見てみましょう。

한국에 친구가 있다. (ハングゲ チングガイッタ) (韓国に友人がいる)

한국에도 친구가 있다. (ハングゲド チングガイッタ) (韓国にも友人がいる)

한국에만 친구가 있다. (ハングゲマン チングガイッタ) (韓国にだけ友人がいる)

한국에는 친구가 없다. (ハングゲヌン チングガ オープタ) (韓国には友人がいない)

〈도 (ト)〉は「～も」、〈만 (マン)〉は「～だけ」、〈는 (ヌン)〉は「～は」にあたる助詞で、〈없다 (オープタ)〉は「いない」という意味です。助詞を重ねて使える点も日本語によく似ています。

### (3) 漢字語がある

韓国語には韓国特有の固有語と共に、漢字に起源を持つ漢字語もあり、日本語と共通の語彙も少なくありません。ただし、韓国で使われている漢字は旧字体です。

本書では、漢字語は( )で表し、日本の漢字で表記しました。

### (4) 丁寧語、尊敬語もある

日本語には「だ」「である」体と「です」「ます」体がありますが、韓国語にも同じような表現があります。また敬意を表す尊敬語やへりくだった表現の謙譲語もあります。

## 2 ハングルとは

ハングルは韓国語を表記する文字のことで、言語の名称ではありません。〈한(ハン)〉は「ひとつの、大きな」、〈글(ケル)〉は「文字」、全体で「偉大な文字」という意味を表します。ハングルはほかの多くの文字とは違って、創られた年代や創った人がはっきりしています。15世紀の半ば〔1443年〕に朝鮮王朝第4代の王「世宗(セジョン)」によって制定され1446年に公布されたもので、当初は「訓民正音(フンミンジョンウム)」といました。

### (1) ハングルの特徴

比較的新しい文字であるハングルは次のような特徴を持っています。

- ①母音字と子音字に分かれる音素文字で、これを組み合わせて1音節の文字を表します。現在は基本になる10の母音と14の子音が使われています。
- ②民衆のために創られた、習いやすく書きやすい文字で、口、歯、唇、舌、喉など発音器官をかたどった独創的な字体を持っています。

### (2) ハングルの仕組み

서울 = ㅅ [s] + ㅊ [ɕ], ㅇ [音価ゼロ] + ㅍ [u] + ㄹ [l]

上記の〈서울〉は「ソウル」のことです。2文字で [soul] と発音します。〈서〉 [sɔ] と 〈울〉 [ul] です。〈서〉はs子音の〈ㅅ〉と母音の〈ㅊ〉 [ɕ] が組み合わさった文字、〈울〉は音価のない子音〈ㅇ〉とㅍ [u] 母音、さらに [l] にあたる〈ㄹ〉子音が組み合わさった文字です。

①서 = ㅅ + ㅊ : 子音 + 母音    ②울 = ㅇ + ㅍ + ㄹ : 子音 + 母音 + 子音

このようにハングルは子音字と母音字からなる音素文字で、必ず「①子音+母音」、または「②子音+母音+子音」のどちらかの形を取り、音節ごとに書き表すように作られています。発音するときは①は子音+母音、②は子音+母音、次に子音の順に読みますが、いずれも1文字を1音節として発音します。

文字の組み合わせ方は母音字の形によって決まります。

「①子音+母音」の組み合わせの場合、①子音字の右に縦長の母音字が来るもの、②子音字の下に横長の母音字が付くもの、③その複合形、があります。

「②子音+母音+子音」の組み合わせの場合は①a+子音、②b+子音、③c+子音で、①～③それぞれの組み合わせの下に子音字を付けて書きます。

- |           |        |        |          |
|-----------|--------|--------|----------|
| ①子音+母音    | ①개 (犬) | ②소 (牛) | ③취 (ネズミ) |
| ②子音+母音+子音 | ④말 (馬) | ⑤곰 (熊) | ⑥꿩 (キジ)  |

ハングルの仕組みについては「Ⅱ 文字と発音」で詳しく学びます。

《反切表》

子音 母音		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		ㄱ [k, g]	ㄴ [n]	ㄷ [t, d]	ㄹ [r]	ㅁ [m]	ㅂ [p, b]	ㅅ [s, f]	ㅇ [—]	ㅈ [tʃ, dʒ]
1	ㅏ [a]	가	나	다	라	마	바	사	아	자
2	ㅑ [ja]	가	냐	다	랴	마	바	샤	야	쟈
3	ㅓ [ɔ]	거	너	더	러	머	버	서	어	저
4	ㅕ [jo]	겨	녀	더	려	며	벼	셔	여	져
5	ㅗ [o]	고	노	도	로	모	보	소	오	조
6	ㅛ [jo]	교	뇨	도	료	묘	보	쇼	요	죠
7	ㅜ [u]	구	누	두	루	무	부	수	우	주
8	ㅠ [ju]	규	뉴	두	류	뮤	뷰	슈	유	쥬
9	ㅡ [ɯ]	그	느	드	르	므	브	스	으	즈
10	ㅣ [i]	기	니	디	리	미	비	시	이	지

\* 다더듀, 자쥬, 차쵸쵸, 님뵤뵤は, 外来語の表記でしか使いません。



10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合成 母音
ㄷ [tʰ]	ㅋ [kʰ]	ㅌ [tʰ]	ㅍ [pʰ]	ㅎ [h]	ㄱ [ʔk]	ㅋ [ʔt]	ㅍ [ʔp]	ㅅ [ʔs, ʔj]	ㅈ [ʔtʃ]	
차	카	타	파	하	까	따	빠	싸	짜	ㅈ [jɛ]
차	카	타	파	하	까	따	빠	싸	짜	ㅈ [e]
처	커	터	퍼	허	꺼	떠	뼈	씨	저	ㅈ [je]
처	커	터	퍼	허	꺼	떠	뼈	씨	저	ㅈ [wa]
초	코	토	포	호	꼬	또	뽀	쏘	쫐	ㅈ [wɛ]
초	코	토	포	호	꼬	또	뽀	쏘	쫐	ㅈ [we]
추	쿠	투	푸	후	꾸	뚜	뿌	쑤	쭈	ㅈ [wɔ]
추	쿠	투	푸	후	꾸	뚜	뿌	쑤	쭈	ㅈ [we]
츠	크	트	프	흐	끄	뜨	쁘	쓰	쯔	ㅈ [wi]
치	키	티	피	히	끼	띠	प्피	씨	찌	ㅈ [wi]

# II

## 文字と発音

---

# 1 母音

disc-1  
02

## 1 基本母音

基本になる母音は10個あります。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
字母	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
発音	a	ja	o	jo	o	jo	u	ju	u	i

字母	名称	発音	発音のポイント
① ㅏ	ア	a	日本語のアより口を大きく開ける。
② ㅑ	ヤ	ja	[a] に半母音 [j] が付いた母音。 日本語のヤとほぼ同じ。
③ ㅓ	オ	o	口を縦にやや大きく開けてオを発音する。
④ ㅕ	ヨ	jo	[o] に半母音 [j] が付いた母音。 口を縦にやや大きく開けてヨを発音する。
⑤ ㅗ	オ	o	唇を丸めてオを発音する。
⑥ ㅛ	ヨ	jo	[o] に半母音 [j] が付いた母音。 唇を丸めてヨを発音する。
⑦ ㅜ	ウ	u	唇を丸めてウを発音する。
⑧ ㅠ	ユ	ju	[u] に半母音 [j] が付いた母音。 唇を丸めてユを発音する。
⑨ ㅡ	ウ	u	唇を横に引いてウを発音する。
⑩ ㅣ	イ	i	唇を横に引いてイを発音する。

上の母音のうち①ㅏ, ③ㅓ, ⑤ㅗ, ⑦ㅜにそれぞれ短い1画を付け加えると拗音になります。

①ㅏ [a・ア] + 右横棒 → ②ㅑ [ja・ヤ]

③ㅓ [o・オ] + 左横棒 → ④ㅕ [jo・ヨ]

⑤ㅗ [o・オ] + 上縦棒 → ⑥ㅛ [jo・ヨ]

⑦ㅜ [u・ウ] + 下縦棒 → ⑧ㅠ [ju・ユ]

## (1) 発音のポイント

10個の基本母音には「オ」「ヨ」「ウ」がそれぞれ2つあります。その区別は実際にCDを聞きながら繰り返し練習することで身に付けるのが一番ですが、大きく分けると唇を丸めて発音するもの〔⑤⑥⑦〕と、そうでないもの〔③④⑨〕があります。口の形に十分留意して練習してください。

オ	⑤ ㅏ	唇を丸めて発音する。	③ ㅓ	口を縦にやや大きめに開いて発音する。
ヨ	⑥ ㅙ	唇を丸めて発音する。	④ ㅜ	口を縦にやや大きめに開いて発音する。
ウ	⑦ ㅜ	唇を丸めて発音する。	⑨ ㅡ	唇を横に引いて発音する。

## (2) 書き方のポイント

先にも説明したように、文字は必ず子音と母音を組み合わせて書きます。母音だけの発音の文字を書き表すときは、音のない子音ㅇを子音の位置に書きます。

10個の基本子音を文字にすると次のようになります。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
活字体	아	야	어	여	오	요	우	유	으	이
筆記体	아	야	어	여	오	요	우	유	으	이

書き順は漢字やかかなと同じく、上から下、左から右の順です。全体が四角い枠に収まるように、子音と母音のバランスをとって書くと上手に書けます。手書きの場合、活字体をまねて練習すればよいのですが、次の点に注意が必要です。

- ◆縦棒と横棒の長短や位置を極端に変えない。
- ◆縦棒と横棒の接点が交差しないようにする。
- ◆特にㅓ, ㅜの場合、短い横棒をカタカナのㅓのように右下がりに書かない。

## 2 合成母音

合成母音は基本母音を組み合わせたもので、11個あります。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
字母	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅟ	ㅢ	ㅤ
発音	ε	je	e	je	wa	wε	we	wɔ	we	wi	wui

字母	組み合わせ	発音	発音のポイント
① ㅏ	ㅏ + ㅣ	ε	日本語のエより口を大きく開けて発音する。
② ㅑ	ㅑ + ㅣ	je	イから①のエをひと息に発音する。
③ ㅓ	ㅓ + ㅣ	e	日本語のエとほぼ同じ。
④ ㅕ	ㅕ + ㅣ	je	イから③のエをひと息に発音する。
⑤ ㅗ	ㅗ + ㅏ	wa	唇を丸めるウからアをひと息に発音する。
⑥ ㅛ	ㅗ + ㅑ	wε	唇を丸めるウから①のエをひと息に発音する。
⑦ ㅜ	ㅗ + ㅓ	we	唇を丸めるウから③のエをひと息に発音する。
⑧ ㅠ	ㅜ + ㅤ	wɔ	唇を丸めるウから口を大きく開けるオをひと息に発音する。
⑨ ㅟ	ㅜ + ㅓ	we	唇を丸めるウから③のエをひと息に発音する。
⑩ ㅢ	ㅜ + ㅣ	wi	唇を丸めるウからイをひと息に発音する。
⑪ ㅤ	ㅡ + ㅣ	wui	唇を横に引くウからイをひと息に発音する。

## (1) 発音のポイント

- ◆エが①と③の2つありますが、そのうち③の〈ㅓ〉は日本語のエとほぼ同じ発音です。①の〈ㅏ〉は、それよりもっと口を大きく開けて発音します。
- ◆②〈ㅑ〉と④〈ㅕ〉は共にイからスタートしますが、発音し終わったときの口の開き具合は②〈ㅑ〉の方が大きいです。
- ◆⑦〈ㅜ〉は本来、唇を丸めるオからイをひと息に発音する音でしたが、現在では⑨〈ㅟ〉と同じく [we] と発音します。
- ◆⑤〈ㅗ〉、⑥〈ㅛ〉、⑦〈ㅜ〉、⑧〈ㅠ〉、⑨〈ㅟ〉、⑩〈ㅢ〉はいずれも唇を丸めるウから発音をスタートします。⑦〈ㅜ〉以外は「ウ+右の母音」の発音と覚えれば、わかりやすいでしょう。
- ◆⑪〈ㅤ〉は唇を丸めなくて、唇を横に引いて発音します。⑩〈ㅢ〉と同じ発音にならないように気をつけましょう。

## (2) 書き方のポイント

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
活字体	애	애	에	예	와	왜	외	워	웨	위	의
筆記体	애	애	에	예	와	왜	외	워	웨	위	의

- ◆縦棒が2本の〈H〉, 〈H〉, 〈H〉, 〈H〉は右の棒を左よりやや長めに書く。
- ◆合成母音では〈ㅏ〉, 〈ㅓ〉, 〈ㅡ〉を少し小さめに書く。

## (3) 母音の配列

母音は、基本母音10個、合成母音11個の計21個です。

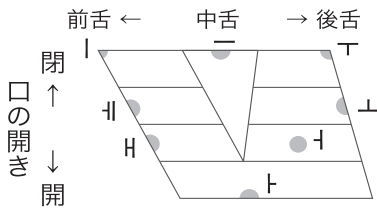
辞書での配列は〈아・야・어・여…〉という基本母音の順序を基本にしています。合成母音は組み合わせた母音のうち左の母音の後に配列されており、左が同じ字の場合は右の母音の配列順になっています。

ㅏ → ㅓ → ㅑ → ㅕ → ㅗ → ㅛ → ㅜ → ㅠ → ㅝ → ㅟ → ㅞ → ㅠ → ㅡ →

ㅜ → ㅠ → ㅝ → ㅟ → ㅞ → ㅠ → ㅡ → ㅢ →

ㅡ → ㅓ → ㅣ

## (4) 母音の発音と口の開き・舌の位置との関係



# 2 子音



## 1 基本子音と濁音

子音には14個の基本子音と5個の濁音があります。

**基本子音** (CDでは母音トを付けて発音しています)

基本子音	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
字母	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ
発音	k, g	n	t, d	r	m	p, b	s, ʃ

基本子音	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
字母	ㅇ	ㅈ	ㅊ	ㅋ	ㅌ	ㅍ	ㅎ
発音	ゼロ	tʃ, dʒ	tʃʰ	kʰ	tʰ	pʰ	h

字母	名称	発音	発音のポイント
① ㄱ	キヨク	k, g	日本語のカ行の発音とほぼ同じ。語中では濁音(有声音)になる。 가구 [kagu] (家具)
② ㄴ	ニウン	n	日本語のナ行の発音とほぼ同じ。 누나 [numa] (姉)(弟が言う)
③ ㄷ	ティグツ	t, d	日本語のタ行の発音とほぼ同じ。語中では濁音になる。 다도 [tado] (多島), (茶道)
④ ㄹ	リウル	r	日本語のラ行の発音とほぼ同じ。 나라 [nara] (国)
⑤ ㅁ	ミウム	m	日本語のマ行の発音とほぼ同じ。 매미 [memi] (セミ)
⑥ ㅂ	ピウパ	p, b	日本語のパ行の発音とほぼ同じ。語中では濁音になる。 부부 [pubu] (夫婦)
⑦ ㅅ	シオツ	s, ʃ	日本語のサ行の発音とほぼ同じ。語中でも濁音にならない。 수수 [susu] (モロコシ)
⑧ ㅇ	イウン	ゼロ	母音字の前では音価はない。つまり母音だけの発音になる。 아이 [ai] (子供)

⑨ ス	チウツ	tʃ, dʒ	日本語のチャ行の発音とほぼ同じ。語中では濁音になる。 재주 [tʃɛdʒu] (才能)
⑩ え	チウツ	tʃʰ	⑨のスを息を強く吐き出しながら発音する。 치마 [tʃʰima] (スカート)
⑪ ヲ	キウク	kʰ	①のㄱを息を強く吐き出しながら発音する。 코 [kʰo] (鼻)
⑫ エ	ティウツ	tʰ	③のㄷを息を強く吐き出しながら発音する。 도토리 [toʰtori] (どんぐり)
⑬ ュ	ピウフ	pʰ	⑥のㅍを息を強く吐き出しながら発音する。 파 [pʰa] (ネギ)
⑭ ㅎ	ヒウツ	h	日本語のハ行の発音とほぼ同じ。 하나 [hana] (ひとつ)

**濃音** (CDでは母音トを付けて発音しています)

濃音	①	②	③	④	⑤
字母	ㄱ	ㄷ	ㅍ	ㅅ	ㅈ
発音	ʔk	ʔt	ʔp	ʔs, ʔʃ	ʔtʃ

字母	名称	発音	発音のポイント
① ㄱ	サンギヨク	ʔk	「まっか」の「か」のように前に「っ」を付けたような音。息は漏れない。 까치 [ʔka:tʃʰi] (カササギ)
② ㄷ	サンディグツ	ʔt	「あった」の「た」のように前に「っ」を付けたような音。息は漏れない。 보따리 [poʔtari] (包み)
③ ㅍ	サンビウフ	ʔp	「きっぷ」の「ぷ」のように前に「っ」を付けたような音。息は漏れない。 뿌리 [ʔpuri] (根)
④ ㅅ	サンシオツ	ʔs, ʔʃ	「きっさ」の「さ」のように前に「っ」を付けたような音。息は漏れない。 싸리 [ʔsari] (萩)
⑤ ㅈ	サンジウツ	ʔtʃ	「あっち」の「ち」のように前に「っ」を付けたような音。息は漏れない。 찌개 [ʔtʃige] (鍋料理)



## 2 子音のまとめ

子音は基本子音14個と濃音5個の合計19個です。ここで子音についておさらいをしておきます。

### (1) 子音字の成り立ち

先に述べたように、子音字は発音するときの口の中のいろいろな器官をかたどっています。例えば〈ㄱ〉は舌の付け根の部分が口の天井に接している形、〈ㄴ〉は舌尖が上の前歯の裏に接している形を表しています。それらを基本として文字が作られました。文字の成り立ちは次のとおりです。

唇音	ㅁ → ㅂ → ㅃ →	ㅅ
舌音	ㄴ → ㄷ → ㄸ → ㄹ → ㄺ	ㄻ
歯音	ㄱ → ㅋ → ㆁ →	ㄷ, ㅈ
軟口蓋音	ㄱ → ㅋ →	ㄷ
喉音	ㅇ →	ㅇ

### (2) 平音・激音・濃音

口の中の同じ位置で発音される音でも、息の強弱や有無によって別の音になります。平音・激音・濃音の3つがそれで、この3種の音を区別して発音し、聞き取ることが大切なポイントです。

①平音	ㄱ	ㄷ	ㅂ	ㄱ	ㄷ
②激音	ㅋ	ㅌ	ㅃ	—	ㆁ
③濃音	ㄱ	ㄷ	ㅂ	ㄱ	ㄷ

①平音：喉に力を入れないで発音します。語頭では常に無声音〔清音〕です。

가 [ka] 다 [ta] 바 [pa] 사 [sa] 자 [tʃa]

〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅂ〉, 〈ㄱ〉は語中で有声音〔濁音〕になることがあります〔4 発音のルール 1 平音の濁音化の項参照〕。ただし〈ㄱ〉の有声音は鼻濁音ではありません。

～가 [ga] ～다 [da] ～바 [ba] ～자 [dʒa]

また〈ㄱ〉は語中でも濁音になることはありません。

②**激音**：喉に力を入れ激しく息を吐き出しながら発音します。語頭でも語中でも発音は同じです。なお、〈入〉に対応する激音はありません。

카 [kʰa] 타 [tʰa] 파 [pʰa] 차 [tʰʰa]

③**濃音**：喉に力を入れて発音するのは激音と同じですが、この際激音と違って喉を閉じて息が漏れないようにします。語頭でも語中でも発音は変わりません。

까 [ʔka] 따 [ʔta] 빠 [ʔpa] 싸 [ʔsa] 짜 [ʔtʰa]

까까까까, 따따따따…と続けて発音してみると、発音のコツがつかめるでしょう。

### (3) 入の発音







〈入〉は母音の〈ㅣ〉や拗音の〈ㅏ〉, 〈ㅑ〉, 〈ㅓ〉, 〈ㅕ〉と結び付くと, [s]ではなく [ʃ] 音になります。濃音の〈ㅍ〉も同じく [ʃ] になります。これは日本語の発音と同じなので、特に意識する必要はないかもしれません。

### (4) 子音の形

同じ子音でも縦長の母音と組み合わせるときと、横長の母音と組み合わせるときでいくぶん形が変わります。活字体を真似て書くとよいでしょう。

子音+縦長母音：가 나 더 러 미 바 샤 어 저 치 카 터 퍼 히

子音+横長母音：고 뇨 두 류 으 보 쇼 우 즈 초 료 투 퓨 흐

〈入〉は , 〈ス〉は , , 〈エ〉は , , 〈ㅍ〉は とも書きますが、〈入〉, 〈ス〉, 〈エ〉, 〈ㅍ〉が標準の字形です。

### (5) 子音の配列

子音は辞書では〈ㄱ・ㄴ・ㄷ…〉の順に配列されます。5個の濃音字はそれぞれ対応する平音字の後ろに入ります。

ㄱ → ㄱ → ㄴ → ㄴ → ㄷ → ㄷ → ㄹ → ㄹ → ㅁ → ㅁ → ㅂ → ㅂ → ㅅ → ㅅ → ㅇ → ㅇ

ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ → ㅍ

# 3 パッチム

## 1 パッチムとは

「2 (2) ハングルの仕組み」[p.14]で説明したように、文字には、①子音+母音=音節が母音で終わる文字と、②子音+母音+子音=音節が子音で終わる文字、の2種類があります。文字を読むとき、最初に発音する子音を**初声**といいます。初声は単独では発音されず、必ず母音と共に発音されます。初声と共に発音される母音を**中声**といいます。初声が○の文字は母音つまり中声だけの発音になります。

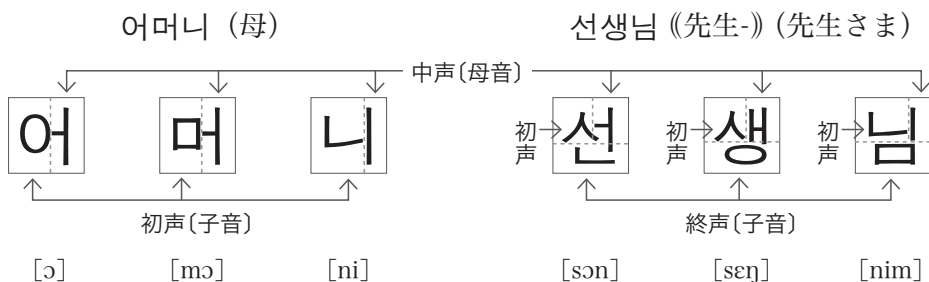
②のパターンの文字のように初声、中声のほかに**終声**と呼ばれる語末子音のある文字があり、この終声のことを**パッチム**といいます。パッチムがあるのが韓国語の特徴で、パッチムのおかげで、漢字1文字をハングル1文字で表すことができるのです。

### ①パッチムのない文字

子音+母音=母音音節文字

### ②パッチムのある文字

子音+母音+子音=子音音節文字



初声になるのは14個の基本子音と5個の濃音、あわせて19個です。中声になるのは10個の基本母音と11個の合成母音の計21個です。パッチムは必ず初声字と中声字を組み合わせた下にかかれます。上の字を支えているので「支えるもの」という意味のパッチムと呼ばれています。

パッチムになるのは14個の基本子音のほかに、2個の濃音字と、2種の子音を並べた複合型11個の、合計27個です。

パ ッ チ ム	基本子音	ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅅ ㅈ ㅊ ㅋ ㆁ
	濃音字	ㅃ ㅆ
	複合型	ㄱㅅ ㄴㅅ ㄷㅅ ㄹㅅ ㄹㅁ ㄹㅂ ㄹㅃ ㄹㅆ ㄹㅇ ㅅㅅ

## 2 パッチムの発音 -1-

パッチムは27種類もありますが、その発音は次の7とおりに分かれます。2種の子音を持つパッチムも音節として発音するときは左右どちらかの文字だけを読みます。

発音	発音のポイント	該当するパッチム
① ㄱ [k]	ㄱを発音する口の構えをして音を出さずに息を詰める。	ㄱ ㅋ ㄱㅇ ㄱㅅ ㄱㅇ
국 [kuk] (スープ) 값 [sak] (賃金)	밖 [pak] (外) 부엌 [puok] (台所)	닭 [tak] (ニワトリ)
② ㄴ [n]	舌尖を上歯茎の裏に付けて、鼻から息を抜く。鼻音。	ㄴ ㄴㅇ ㄴㅇ
산 [san] (山)	신문 [jinmun] (新聞)	
③ ㄷ [t]	舌尖を上歯茎の裏に付けて、息を詰める。	ㄷ ㅌ ㅇ ㅌ ㅇ ㅌ ㅇ ㅇ ㅇ ㅇ ㅇ ㅇ ㅇ
곧 [kot] (すぐ) 빛 [pit] (光)	옷 [ot] (衣類) 낮 [nat] (昼) 밭 [pat] (畑)	
④ ㄹ [l]	舌尖を上顎の裏に付ける。英語の [l] の発音。巻き舌ではない。	ㄹ ㄹㅇ ㄹㅇ ㄹㅇ ㄹㅇ (ㄹㅇ)*
달 [tal] (月)	달걀 [talgjal] (鶏卵) 여덟 [jodol] (8つ)	
⑤ ㅁ [m]	口を閉じて、鼻から息を抜く。鼻音。	ㅁ ㅁㅇ
감 [ka:m] (柿)	몸 [mom] (体) 삶 [sa:m] (生)	
⑥ ㅂ [p]	ㅂを発音する口の構えをして、音は出さずに、息を詰める。	ㅂ ㅃ ㅇ ㅃ ㅇ ㅃ ㅇ (ㅃㅇ)*
집 [tʃip] (家)	잎 [ip] (葉) 값 [kap] (値段)	
⑦ ㅇ [ŋ]	舌をどこにも付けず、軽く口を開いて鼻から息を抜く。鼻音。	ㅇ
강 [kaŋ] (江) (川)	땅 [ʔtaŋ] (土地)	공장 [koŋdʒaŋ] (工場)

\* ㄹㅇは普通 [k・ㄱ] と読みますが、次に初声のㄱが来るときは [l・ㄹ] と読みます。

ㅃㅇはほとんどの場合 [l・ㄹ] と読みますが、一部 [p・ㅂ] と読む単語もあります〔詳しくはp.205「Q9」参照〕。

### 3 パッチムの発音 -2-

7とおりのパッチムの発音は①詰まる音、②鼻音、③流音の3つに大別されます。

音の種類	代表音	該当するパッチム
①詰まる音	ㄱ [k]	ㄱ ㅋ ㆁ ㄷ ㄸ
	ㄷ [t]	ㄷ ㅌ ㅈ ㅊ ㅌ ㅍ ㅍ
	ㅍ [p]	ㅍ ㅍ ㅍ ㅍ (ㅍ)
②鼻音	ㄴ [n]	ㄴ ㄴ ㄴ
	ㅁ [m]	ㅁ ㅁ
	ㅇ [ŋ]	ㅇ
③流音	ㄹ [l]	ㄹ ㄹ ㄹ ㄹ ㄹ (ㄹ)

#### ①詰まる音

〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅍ〉で代表される音です。

発音する口の構えをするだけで、息を詰まらせたまま止めます。英語の [k] [t] [p] で終わる音とは違って、息が漏れないので音は出ません。ですからパッチムの発音では〈ㄱ〉と〈ㅋ〉, 〈ㄷ〉と〈ㅌ〉, 〈ㅍ〉と〈ㅍ〉はそれぞれ区別がつきません。〈ㄱ〉 [k] は「まっか」と言うときの「っ」, 〈ㄷ〉 [t] は「あつた」の「っ」, 〈ㅍ〉 [p] は「さっぱり」の「っ」と考えればわかりやすいでしょう。〈ㅍ〉 [p] だけは必ず口を閉じて息を詰めますが、これは後に「発音のルール」で学ぶパッチムの音変化においても大事なポイントになります。

#### ②鼻音

〈ㄴ〉, 〈ㅁ〉, 〈ㅇ〉の3つの「ン」を鼻音といいます。

〈ㄴ〉 [n] は「かな」と言うときの「ン」です。舌先が上の歯の裏から離れないようにして鼻から息を抜きます。

〈ㅁ〉 [m] は「さんま」と言うときの「ン」です。必ず口を閉じて鼻から息を抜きます。唇に力を入れすぎると [mu] になってしまうので、注意してください。

〈ㅇ〉 [ŋ] は「まんが」と言うときの「ン」です。口を閉じてはいけません。

#### ③流音

流音は1つだけです。パッチムの〈ㄹ〉は英語の [l] に近い音です。巻き舌にならないように気をつけましょう。

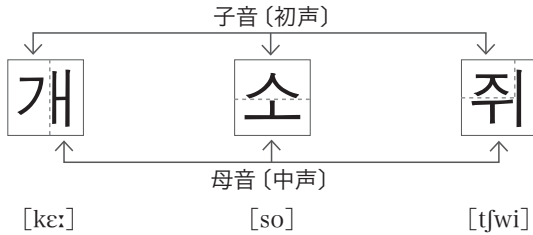
## 4 文字の組み合わせ

p.15で学んだ文字の組み合わせをここで詳しく見てみましょう。

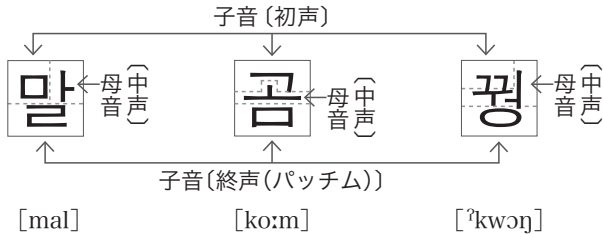
文字の組み合わせは「①子音+母音」、または「②子音+母音+子音」のどちらかです。

最初の子音を「初声」、初声とともに発音する母音を「中声」といいます。初声と中声の組み合わせの下にある子音が「終声〔パッチム〕」です。

①の例    ㉑ 개 (犬)                      ㉒ 소 (牛)                      ㉓ 쥐 (ネズミ)



②の例    ㉔ 말 (馬)                      ㉕ 곰 (熊)                      ㉖ 꿩 (キジ)



辞書ではパッチムは下記の順序で配列されています。

ㄱ → ㄲ → ㄴ → ㄷ → ㄸ → ㄹ → ㄺ → ㄻ → ㄼ → ㄽ → ㄾ → ㄿ → ㅀ → ㅁ → ㅂ → ㅃ → ㅄ → ㅅ → ㅆ → ㅇ → ㅈ → ㅉ → ㅊ → ㅋ → ㆁ

# 4 発音のルール

disc-1  
06

## 1 平音の濁音化

平音の〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅂ〉, 〈ㅍ〉は語頭で濁音になることはありませんが

①語中で前の語にパッチムがないとき

②有声音パッチムの〈ㄴ〉, 〈ㄹ〉, 〈ㅇ〉, 〈ㅁ〉に続くとき

濁音で発音されます。ただし、漢字語ではㅁパッチムの次に来るㄷ, ㅍは濁音になりません〔4 漢字語の濃音化参照〕。

なお、パッチムの〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅂ〉, 〈ㅍ〉が連音化に伴って濁音化する例は次項 2 連音化を参照してください。

- ①の例    여기 [jɔgi] (ここ)  
           바다 [pada] (海)  
           제비 [tʃe:bi] (ツバメ)  
           모자 [modʒa] (帽子)
- ②の例    전기 [tʃɔ:ngi] (電気)  
           감기 [ka:mgi] (感気) (風邪)  
           공기 [koŋgi] (空気)  
           날개 [nalge] (翼)  
           반도 [pa:ndo] (半島)  
           담당 [tamdan] (担当)  
           상대 [saŋdɛ] (相对) (相手)  
           돌담 [to:ldam] (石垣)  
           신부 [ʃinbu] (新婦)  
           담배 [ta:mbe] (タバコ)  
           공부 [koŋbu] (工夫) (勉強)  
           설비 [sɔlbi] (設備)  
           안주 [andʒu] (肴)  
           남자 [namdʒa] (男子) (男性)  
           상자 [saŋdʒa] (箱子) (箱)  
           물장난 [muldʒaŋnan] (水遊び)

平音のうち〈ㅅ〉は語中でも濁音になることはありません。

## 2 連音化

パッチムのある文字を母音で始まる文字〔初声がㅇ〕と続けて読むとき、パッチムは次の音節の初声として発音されます。これを連音化といいます。連音化するときにはパッチムとしての発音ではなく、その子音本来の音で発音されます。

なお、パッチムの〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅂ〉, 〈ㅅ〉が連音化すると濁音になります。

직업 [tʃigɔp] (職業)  
 진입 [tʃimip] (進入)  
 맏아들 [madadul] (長男)  
 발음 [parum] (発音)  
 음악 [umak] (音楽)  
 집안 [tʃiban] (家の中)  
 웃음 [usum] (笑い)  
 붕어 [pu:ŋo] (フナ)  
 맞이 [madʒi] (迎えること)

〈ㅇパッチム〉の次に母音で始まる文字が来ると、〈ㅇ〉は無音化して発音されません [p.202 「Q7」参照]。

좋아요. [tʃoajo] (いいです)

また、2つの子音を持つ複合パッチムの次に母音で始まる文字が来ると、左の子音がパッチムとして残り、右の子音が連音化します [p.205 「Q9」参照]。

젊은이 [tʃɔlmuni] (若者)  
 넓이 [nɔlbi] (広さ)



## 3 平音の濃音化

詰まる音のパッチム [k] 〈ㄱ, ㄲ, ㅋ, ㆁ, ㄷ, ㄸ〉, [t] 〈ㄷ, ㄸ, ㅌ, ㅍ, ㅊ, ㅌ, ㅍ, ㅊ〉, [p] 〈ㅍ, ㅆ, ㅍ, ㅆ, ㅍ, ㅆ〉に続く平音 〈ㄱ, ㄷ, ㅍ, ㅆ〉は濃音になります。先行するパッチムをきちんと発音すれば、後続の平音は自然と濃音化します。

-ㄱ+ㄱ → ㄲ	학교 [ha <sup>h</sup> kjo] (学校)
-ㄱ+ㄷ → -ㄱ+ㄸ	각도 [kak <sup>h</sup> to] (角度)
-ㄱ+ㅍ → -ㄱ+ㅆ	국밥 [kuk <sup>h</sup> pap] (クッパ)
-ㄱ+ㅍ → -ㄱ+ㅆ	목사 [mok <sup>h</sup> sa] (牧師)
-ㄱ+ㅍ → -ㄱ+ㅆ	숙제 [suk <sup>h</sup> tje] (宿題)
-ㄷ+ㄱ → -ㄷ+ㄲ	숟가락 [sut <sup>h</sup> karak] (スプーン)
-ㄷ+ㄷ → ㄸ	꽃다발 [ko <sup>h</sup> tabal] (花束)
-ㄷ+ㅍ → -ㄷ+ㅆ	햇빛 [het <sup>h</sup> pit] (日光)
-ㄷ+ㅍ → -ㄷ+ㅆ	첫사랑 [tʃ <sup>h</sup> ot <sup>h</sup> saraŋ] (初恋)
-ㄷ+ㅍ → -ㄷ+ㅆ	똥자리 [to <sup>h</sup> tʃari] (ござ)
-ㅍ+ㄱ → -ㅍ+ㄲ	밥그릇 [pap <sup>h</sup> kurut] (ご飯茶碗)
-ㅍ+ㄷ → -ㅍ+ㄸ	습도 [sup <sup>h</sup> to] (湿度)
-ㅍ+ㅍ → ㅆ	앞벌레 [i <sup>h</sup> pɔlle] (ハムシ)
-ㅍ+ㅍ → -ㅍ+ㅆ	입술 [ip <sup>h</sup> sul] (唇)
-ㅍ+ㅍ → -ㅍ+ㅆ	잡지 [tʃap <sup>h</sup> tʃi] (雑誌)

## 4 漢字語の濃音化

漢字語で〈ㄷパッチム〉の次に〈ㄷ〉, 〈ㅍ〉, 〈ㅆ〉が来ると, 〈ㄸ〉, 〈ㅆ〉, 〈ㅆ〉と発音されます。この濃音化が起きるのは漢字語に限られます。

-ㄷ+ㄷ → -ㄷ+ㄸ	발달 [pal <sup>h</sup> tal・발달] (発達)
-ㄷ+ㅍ → -ㄷ+ㅆ	발사 [pal <sup>h</sup> sa・발사] (発射)
-ㄷ+ㅍ → -ㄷ+ㅆ	발전 [pal <sup>h</sup> tʃɔ:n・발전] (発展)

## 5 鼻音化

〈-ㄱ〉 [k], 〈-ㄷ〉 [t], 〈-ㅂ〉 [p] で代表される詰まる音のパッチムに鼻音子音 〈ㄴ〉, 〈ㄹ〉 が後続すると、子音同化が起こってパッチムはそれぞれ鼻音になります。これを鼻音化といいます。

$$\left. \begin{array}{l} \text{-ㄷ} [t] \text{ (ㄷ 人 从 天 天 ㅌ ㅌ)} \\ \text{-ㅂ} [p] \text{ (ㅂ ㅍ ㅍ ㅍ ㅍ)} \end{array} \right\} + \text{ㄴ}, \text{ㄹ} \left. \begin{array}{l} \\ \text{-ㄹ} \end{array} \right\} \rightarrow \text{-ㄴ} + \text{ㄴ}, \text{ㄹ} \text{ (ㄷ} \rightarrow \text{ㄴ)} \\ \text{ (ㅂ} \rightarrow \text{ㄹ)}$$

-ㄱ+ㄴ → -ㅇ+ㄴ	막내 [maŋnɛ] (末っ子)
-ㄱ+ㄹ → -ㅇ+ㄹ	국민 [kuŋmin] (国民)
-ㄷ+ㄴ → -ㄴ+ㄴ	첫눈 [tʃʰɔnnun] (初雪)
-ㄷ+ㄹ → -ㄴ+ㄹ	빗물 [pinmul] (雨水)
-ㅂ+ㄴ → -ㄹ+ㄴ	앞날 [amnal] (将来)
-ㅂ+ㄹ → -ㄹ+ㄹ	입말 [immal] (話し言葉)

## 6 平音の激音化

平音 〈ㄱ〉, 〈ㄷ〉, 〈ㅂ〉, 〈ㅌ〉 は 〈ㅎ〉 と連続すると激音 〈ㅋ〉, 〈ㅌ〉, 〈ㅍ〉, 〈ㅊ〉 になります。また, 〈ㅎ〉 に先行する 〈ㄴ〉 も激音 〈ㄷ〉 になります。これを激音化といいます。

-ㄱ+ㅎ → ㅋ	국회 [kukʰwe] (国会)
-ㄷ+ㅎ → ㅌ	만형 [matʰjɔŋ] (長兄)
-ㅂ+ㅎ → ㅍ	급행 [kupʰɛŋ] (急行)
-ㅌ+ㅎ → ㅊ	맞힌다 [matʰhinda] (的中させる)
-ㄴ+ㅎ → ㄷ	못해요 [mo:tʰɛjo] (できません)
-ㅎ+ㄱ → ㅋ	이렇게 [irokʰe] (このように)
-ㅎ+ㄷ → ㅌ	좋다 [tjo:tʰa] (よい)
-ㅎ+ㅌ → ㅍ	많지 않다 [ma:ntʰhi antʰa] (多くない)

ただし 〈-ㅎ+ㄴ〉 の場合, 〈ㄴ〉 は激音化せずに濃音化して 〈ㄴ〉 になります。

좋습니다. (いいです) [tjo:tʰsumnida]

많습니다. (多いです) [ma:mʰsumnida]

## 7 流音化

〈ㄹ〉子音を流音とといいます。〈ㄹ〉と〈ㄴ〉が連続すると [ll・ㄹㄹ] の発音になります。

-ㄴ + ㄹ → -ㄹㄹ	인류 [illju] (人類)
	연락 [jollak] (連絡)
-ㄹ + ㄴ → -ㄹㄹ	별나라 [pjo:llara] (星の国)
	풀냄새 [phullemse] (草の匂い)

ただし、〈ㄴ〉パッチムで終わる単語に 〈란〉 (欄・乱), 〈량〉 (量), 〈력〉 (力), 〈론〉 (論), 〈료〉 (料), 〈리〉 (里)などが付くときは、先行する単語と意味の上ではっきり区別しておく必要があるため、〈-ㄴ + ㄹ〉は [ll] ではなく [ㄴㄴ] と発音します。

-ㄴ + ㄹ → -ㄴㄴ	의견란 [ui:gjɔnnan] (意見欄)
	생산량 [seɲsannjaŋ] (生産量)
	판단력 [phandannjɔk] (判断力)
	이원론 [i:wɔnnon] (二元論)

## 8 口蓋音化

〈ㄷ〉, 〈ㅌ〉パッチムと〈ㅇ〉が連音化すると, [di・디], [tʰi・티] ではなく [dʒi・지], [tʰʒi・치] と発音されます。これを口蓋化といいます。

-ㄷ + ㅇ → ㅈ

미달이 [midxadʒi] (障子)

굳이 [kudʒi] (しいて)

-ㅌ + ㅇ → ㅊ

같이 [katʰʒi] (一緒に)

붙인다 [putʰhinda] (貼る)

また 〈-ㄷ〉パッチムの後に 〈ㅎ〉が続くと, 口蓋音化と激音化が同時に起こって [tʰʒi・치] と発音されます。

-ㄷ + ㅎ → ㅊ

굳힌다 [kutʰhinda] (固める)

닫힌다 [tatʰhinda] (閉まる)

口蓋音化が起こるのは 〈-ㄷ〉, 〈-ㅌ〉パッチムに 〈ㅇ〉が続く場合に限られます。次のような場合には口蓋音化は起きません。

디딘다 [tidinda] (踏む)

버틴다 [pɔtʰhinda] (踏ん張る)

받아쓰기 [padaʔsugi] (書き取り)

밭을 [patʰuul] (畑を)



1. 아버지 [abodʒi]  
父



2. 어머니 [omoni]  
母



3. 할아버지 [harabodʒi]  
祖父



4. 할머니 [halmoni]  
祖母



5. 오빠 [o'pa]  
兄〔妹が言う〕



6. 형 [hjon]  
〔兄〕〔弟が言う〕



7. 누나 [numa]  
姉〔弟が言う〕



8. 동생 [tonʃen]  
〔同生〕弟, 妹



9. 남자 [namʒa]  
〔男子〕男性



10. 여자 [jɔdʒa]  
((女子) 女性)



11. 자동차 [tʃadontʃʰa]  
((自動車)



12. 전철 [tʃɔ:ntʃʰɔl]  
((電鉄) 電車)



13. 지하철 [tʃihatʃʰɔl]  
((地下鉄)



14. 버스 [ʔpɔ:sw]  
バス



15. 자전거 [tʃadʒɔngɔ]  
((自転車)



16. 택시 [tʰɛkʃi]  
タクシー



17. 배 [pe]  
舟



18. 항공기 [ha:ngonggi]  
((航空機)



19. 소 [so]  
牛



20. 말 [mal]  
馬



21. 돼지 [twɛ:dʒi]  
豚



22. 개 [kɛ:]  
犬



23. 고양이 [kojaŋi]  
猫



24. 여우 [jɔu]  
きつね



25. 호랑이 [ho:raŋi]  
《虎狼-》 虎



26. 개미 [kɛ:mi]  
あり



27. 쥐 [tʃwi]  
ねずみ



28. 다람쥐 [taramɟwi]  
りす



29. 닭 [tak]  
にわとり



30. 새 [sɛ:]  
〔鳥の総称〕



31. 참새 [tʃhamsɛ]  
すずめ



32. 제비 [tʃɛ:bi]  
つばめ



33. 까치 [ʔkartʃhi]  
かささぎ



34. 까마귀 [ʔkamagwi]  
鳥



35. 비둘기 [pidulgi]  
鳩



36. 학 [hak]  
《鶴》



37. 오리 [ori]  
鴨



38. 피꼬리 [ʔkweʔkori]  
うぐいす



39. 생선 [seŋsɔn]  
《生鮮》鮮魚



40. 새우 [seu]  
えび



41. 조개 [tʃogɛ]  
貝



42. 잉어 [i:ŋɔ]  
鯉



43. 붕어 [pu:ŋɔ]  
ふな



44. 꽁치 [ʔkoŋtʃi]  
さんま



45. 도미 [to:mi]  
鯛





46. 연어 [jɔnɔ]  
 ((鮭魚) 鮭)



47. 송어 [sonɔ]  
 ((松魚) ます)



48. 미꾸라지 [mi'kuradzi]  
 どじょう



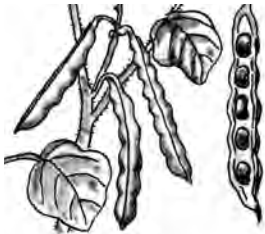
49. 쌀 [ʔsal]  
 米



50. 보리 [pori]  
 麦



51. 콩 [kʰonɕ]  
 豆



52. 팥 [phat]  
 あずき



53. 조 [tʃo]  
 粟



54. 수수 [susu]  
 もろこ시



55. 밀 [mil]  
 小麦



56. 밥 [pap]  
 ごはん



57. 죽 [tʃuk]  
 ((粥))